

科目ナンバリング		U-LAS41 10004 PJ49							
授業科目名 <英訳>	スポーツ実習II B [ソフトボール] Sports II B [Softball]			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授 江川 達郎				
群	健康・スポーツ科目群		分野(分類)	スポーツ実習		使用言語	日本語		
旧群	D群	単位数	1単位	週コマ数	1コマ	授業形態	実習(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	金3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
<p>本授業ではソフトボールを通じて、楽しく積極的に身体運動を行うことにより、体力要素の向上および社会性の習得を目指す。ソフトボールには、仲間と協力して攻撃や守備を工夫しながら得点を競い合うことで、瞬発力や敏捷性、動体視力、判断力などの基礎運動技能を習得できる特性がある。さらには、チームで行う集団運動であるため、協調性やマナーなどの社会性をはぐくむことができる。上記の特性を理解し、チームメイトとのコミュニケーションを大切にしながら、ゲームを中心に授業を進める。</p>									
[到達目標]									
<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボールのルール、基本技術を習得し、ゲームを楽しむことで運動する意欲を身につける。 ・ソフトボールをコミュニケーションツールとして捉え、仲間と楽しく過ごす工夫ができるようになる。 									
[授業計画と内容]									
<p>第1回：ガイダンス 第2回：ソフトボールの特性、基本的ルールの説明、ボールに慣れるためのボール遊び 第3回：キャッチボール、送球、捕球の基本技術の習得、ミニゲーム 第4回：キャッチボール、送球、捕球の応用技術の習得、ミニゲーム 第5回：バッティングの基本技術の習得、ミニゲーム 第6回：バッティングの応用技術の習得、ミニゲーム 第7回～第8回：ゲーム形式での練習 第9回～第14回：リーグ戦 フィードバック週は、個人の質問に対応する。</p>									
[履修要件]									
経験の有無や技術レベルは問わないが、受講意欲のある者を歓迎する。									
[成績評価の方法・観点]									
<ul style="list-style-type: none"> ・学習態度(授業参加の積極性、準備・片づけの積極性、ルールの学習・理解)を総合的に評価する。 ・2/3以上の出席を最低要件とする。 									
[教科書]									
使用しない									
[参考書等]									
(参考書) 授業中に紹介する									
[授業外学修(予習・復習)等]									
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の心身の状態を十分に把握しておくこと。 ・ソフトボールの基本的ルールについて学習しておくこと。 									
----- スポーツ実習II B [ソフトボール](2)へ続く -----									

スポーツ実習ⅡB [ソフトボール] (2)

- ・ 野球やソフトボールの試合を観て自身の技術向上に役立てること。

[その他 (オフィスアワー等)]

スポーツ実習の履修には保険への加入が必要です。原則として「学生教育研究災害傷害保険」(学研災)および「学研災付帯賠償責任保険」(付帯賠償)に、留学生は学研災および「学生賠償責任保険」(学賠)に加入して、授業に参加してください。

[主要授業科目 (学部・学科名)]